

農繁期

レポート

令和元年 8月号

バードライフファーム

オーナー	(一般)バードライフ・インターナショナル東京
水田面積	25.0アール
保証量	玄米1125kg
形態品種	特別栽培コシヒカリ



生産者

米風土鳥取の皆さん



稲にとっては例年よりとても暑かったと思う8月でした。水不足もゲリラ夕立ちによりクリアされたので、稲の生育は順調と思われます。イノシシと格闘しながら間もなく始まる収穫が楽しみです。

1. カメムシ防除 2. 最後の草刈り

全ての稲が出穂し、開花と受粉が行われ登熟期に入りました。お米の形は長さ⇒幅⇒厚みの順番で決まります。8月はお米が形作られる大切な時期であり、水の管理が食味・品質・収量に影響が出るため非常に重要です。

水を入れたり止めたりを数日毎に繰り返し、適度な酸素供給と根に力を持たせ、倒伏しないようにします。

また高温の年は天敵のカメムシの発生が目立ちます。この虫はお米が柔らかい水分状態のときに汁を吸って、お米を黒く変色させます。黒いお米は機械に通したときに全て弾き飛ばされ出荷できないため、防除作業を行います。さらに田んぼ周辺で伸びた雑草はカメムシを発生させ、日当たりや風通しが悪くなって稲の病気の原因にもなるので、1つの田んぼ当たり3-4回の草刈りが必要になります。

8月の作業と稲

<初旬の草刈り>



<カメムシ防除>



<電柵補修(猪対策)>



<8月末頃の稲>

